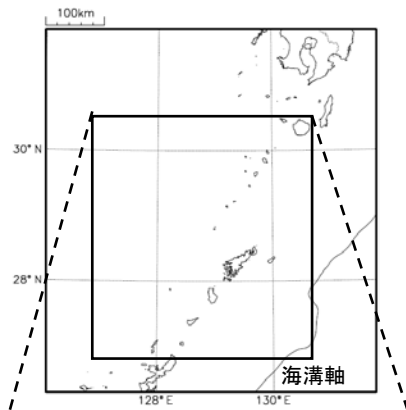


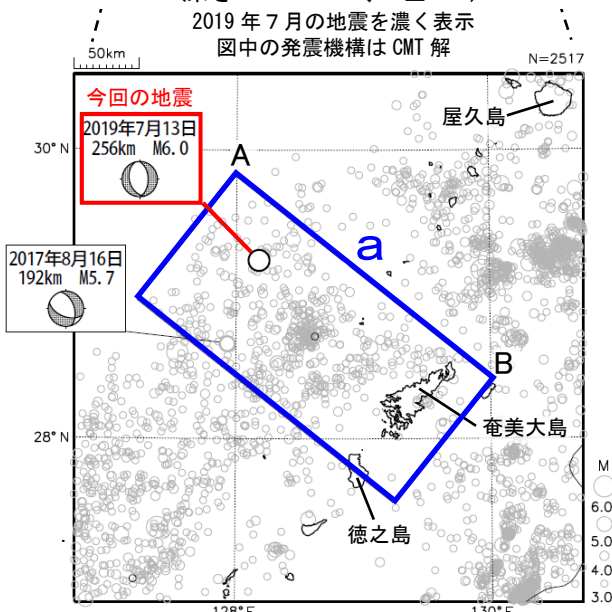
7 月 13 日 奄美大島北西沖の地震



震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2019 年 7 月 31 日
深さ 50～300km、 $M \geq 3.0$)

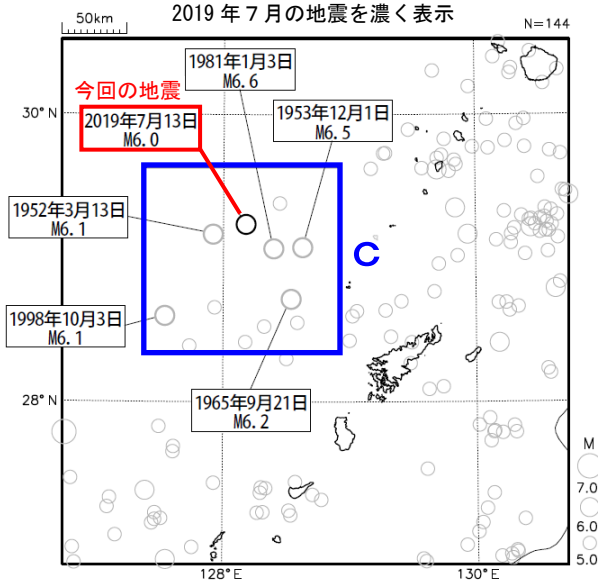
2019 年 7 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



震央分布図

(1922 年 1 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 50～300km、 $M \geq 5.0$)

2019 年 7 月の地震を濃く表示

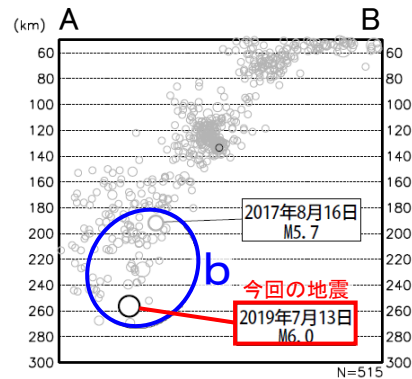


2019年 7 月 13 日 09 時 57 分に奄美大島北西沖の深さ 256km で $M6.0$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT 解) は、フィリピン海プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

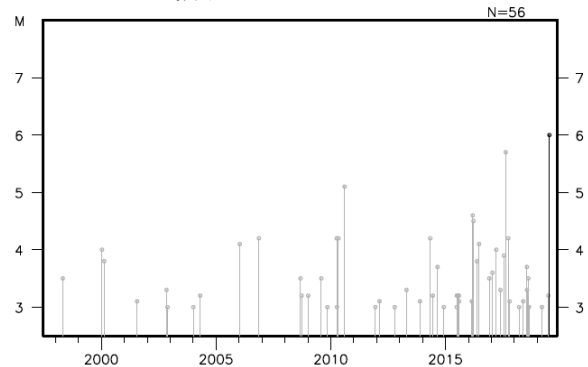
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2017 年 8 月 16 日に $M5.7$ の地震 (最大震度 2) が発生している。

1922 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M6.0$ 以上の地震が 5 回発生している。1981 年 1 月 3 日には $M6.6$ の地震 (最大震度 4) が発生した。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図

